



創立記念日について

9月13日は真美ヶ丘東小学校の創立記念日です。今年は41年目の創立記念日です。この機会に真美ヶ丘東小学校はどのようにしてできたのか、学校に残されている資料から紹介します。

真美ヶ丘の地は馬見丘陵と呼ばれ、もともと田んぼと雑木林が一面に広がる里山でした。昔は、多くの子どもたちが虫や魚を追いかけて走り回っている姿を見かけることができました。そこは、子どもたちの格好の遊び場でした。そして、現在の観正山公園や幼稚園は、大きな池を埋め立てた土地の上につくったそうです。プールのない時代でしたから、子どもたちはその池で泳いだそうです。そのようなどかな丘陵地は、昭和45年ごろから住宅地として都市開発計画が実施され、真美ヶ丘ニュータウンとして今日に至っています。この真美ヶ丘の地に、下田小学校、五位堂小学校の児童数の増加により、香芝町内8番目の小学校として本校が創設されることになりました。校区は、下田小学校区の西真美、五ヶ所、五位堂小学校区の瓦口、別所、そして新しく開発される真美ヶ丘と決定されました。

昭和57年9月13日に起工式（工事を始める式）が行われました。その後、昭和58年3月7日に竣工式（工事が完成した式）が行われ、昭和58年4月5日に開校式、入学式（新入生66名、在校生412名）が盛大に行われ香芝町立（現在は香芝市立）真美ヶ丘東小学校が誕生しました。そして、昭和58年9月13日、起工式の日を記念日として第1回創立記念日とし、以後、9月13日が創立記念日となりました。

その後、昭和63年4月に児童数増加のため真美ヶ丘西小学校が開校し、平成6年8月に増築工事が完成し現在の姿になりました。41年の年月を経て、学校と家庭・地域の皆様が一体となって本校の教育がつけられてきました。今後も「よく考えて よく学ぶ」真美っ子の育成をめざして取組を進めていきます。



【起工式】



周りは何もなかったんだね。

校舎の姿が見えてきた。



【工事中の真美ヶ丘東小学校】



【竣工式】

美しい校舎が完成しました。

お願い

2学期が始まって体調を崩す子どもが増えてきました。登校前の健康観察で、発熱や咳などの風邪症状がある場合や普段より体調が優れない時などは、無理をせず家で休養するようにしていただきますようお願いいたします。